

# Happy Direct Program

ハッピーダイレクトプログラム

# 第6章

意識と無意識を理解し  
変性意識状態を作る

こんにちは。常森です。

講座もいよいよ後半に差し掛かってきました。

第6章に進まれているあなたは、  
これまでにお伝えした、  
幸せを引き寄せるための5つの鍵を  
すでにご理解いただいていると思います。

そして、全てのワークを実践して、

既に、この講座へ参加する前のあなたと、  
今のあなたとでは、

全く別の次元のあなたになっていることでしょう。

5つの鍵の中で紹介したワークを実践しただけでも  
すでに良いできごとが起きた方が  
いらっしゃるのではないのでしょうか？

おめでとうございます！

そして、これから幸せが訪れる方も、  
本当に楽しみですね。

もしまだ、何も変化を感じられていないという場合でも  
安心してください。

大丈夫です。

あなたにも幸せは必ず訪れます。

あなたは、もっとたくさんの幸せを  
受け取る資格のある素晴らしい人なのですから。

もし、まだ5つの鍵を  
しっかりと理解できていないようなら、

もう一度、  
第1章から第5章までを順にすすめて  
それぞれのワークも実践してくださいね。

そうすることで、あなた自身が  
今までの自分とは違う自分  
になっていることに気がつくことができるでしょう。

あなたは、これまで、  
願いをかなえ、  
幸せを引き寄せるために、

時間をかけて、  
一緒に進んできてくれました。

そのことを無駄にしないために、

これまでのワークを必ずおこなってから、

この章に進むようにしてくださいね。

それでは、  
この先の教材で得られることを  
簡単にご説明しておくことにしましょう。

第6章では、

願いをかなえるために必要な意識の状態について、  
理解を深めていきます。

実は、  
この意識の状態について理解することができると、  
「願いをかなえることに無意識が関係している」  
ことがわかるようになります。

願いをかなえることと、無意識が関係しているって、  
今は、ピンとこないかもしれませんが、

大丈夫です。

ひとつひとつ具体例をお話ししながら、  
お伝えしていきますので、

無意識が私たちにどんな働きをしてくれているものなのか、  
しっかりと理解することができますよ。

そして、

無意識の働きを理解することによって、  
願いをかなえるためのメカニズム、

言い換えれば、

願いをかなえる仕組みを  
理解することができるようになるのです。

さらに、

普段はアクセスできない  
無意識の領域への「秘密の扉」を開ける方法も、  
お伝えしていきます。

実は、  
この秘密の扉の開け方を知ることが、  
願いをかなえる近道となるのです。

この扉を開けるワークも、  
しっかりとご紹介していきますので、  
最後までついてきてくださいね。

さあ、

無意識への秘密の扉を開けて、

あなたの願いをかなえていきましょう。

それでは、ここから  
第6章に入っていくことにしましょう。

## 1.「無意識の世界を理解する」

私たちの意識には、  
今、自分がどのような状況かなど  
自分で意識できる領域と、

自分で気がつかないうちに行動するなどの  
意識できない領域(無意識)が存在しています。

そして、意識できない領域、  
すなわち、無意識こそが  
願いごとを叶えるために必要な領域です。

無意識で強く信じていることが  
現実化されるからです。

そこで、まずは、  
私たちが



自分の願いをかなえるために、  
非常に重要な

無意識について、  
お話ししていきたいと思います。

私たちの生活が、  
無意識によって、どれほど  
影響を受けているかを理解することで、

自分の行動が、  
無意識次第で大きく変化するものだ  
ということが、  
わかってもらえると思います。

そして、

そのことが、  
「願いをかなえること」にも、  
大いにつながっていることを、  
お伝えしたいと思っています。

それでは、

まず、無意識とは何か、  
ということから、  
始めていくことにしましょう。

無意識とは、  
精神医学者であるジークムント・フロイトが、

「私たちの心には、  
自我では意識できない領域があり、

それは幼少期からの  
周囲の道徳的な規範の影響のもとで、

その道徳的規範に反する意識内容が  
抑圧されることで形成される」

と、定義したものです。

難しく書いてありますが、  
少しかみくと、

本能的にやりたいことを

「やってはいけないこと」  
として抑圧し、

自分には見えない領域へ  
その欲求を追いやってしまうこと

そのプロセスのなかで形成されるものが  
無意識だということです。

もっと簡単に言ってしまえば、

無意識とは、

私たちの意識の下にあって、  
意識することができない領域  
という風にも表現できます。

例えば、

あなたも、普段、  
特に何の疑いもなく、ご飯を食べたり、  
トイレに行ったりして生活していると思いますが、

その生活の仕方は、

あなたが赤ちゃんのときに、  
ある時は、ほめられたり、  
ある時は、叱られたりしながら、  
身につけてきた方法です。

でも、

あなたは、  
ご飯の食べ方やトイレの使い方を  
どんなふう習得したのか、

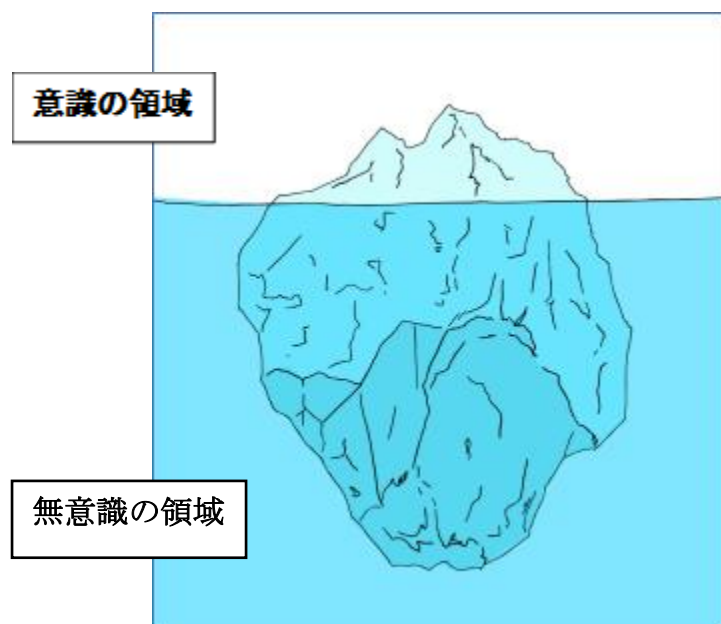
それについては、  
ほとんど覚えていないと思います。

なぜなら、  
そのことは、無意識の領域に  
しまっているからです。

このように、  
実は、人は生きている中で、  
さまざまな記憶を  
無意識にしまっているのです。

そんな記憶の格納庫である無意識は、  
普段、私たちが意識することができないものなのです。

あなたは、  
こんな図を見たことがありますか？



これは氷山の図ですが、

私たちの意識と無意識を  
表したものと置き換えて見ることができます。

水面から上に出ているところが、  
意識の領域です。

ここの部分は、  
自分でもどういうものか見えていて、  
内容を確認することができます。

しかし、

水面下にある無意識の領域は、

意識の領域よりも  
何倍も大きいにも関わらず、

自分では確かめられない領域なのです。

この無意識は、  
私たちの奥深くにあって、  
私たちの行動に大きな影響を与えています。

それでは、次からは、

無意識が、  
私たちの実際の行動に影響を与えていること、

つまり、  
私たちの生き方や、幸せ、

そして、  
願いをかなえることにも影響を与えていることについて、  
お話していくことにします。

どんな風に影響を与えるのか、  
詳しく解説していきますね

## 2.「無意識はあなたの命を 守っている」

無意識は、私たちの生き方に  
とても大きな影響を与えています。

そのことを説明するのに、  
よくありがちな悩みを例に  
考えてみましょう。

私たちが抱える悩みの多くは、

「〇〇がやりたいのに、できない」

「〇〇をしたくないのに、してしまう」

こういう表現ができると思います。

あなたも、日ごろの悩みを

この「〇〇」に入れてみてください。

例えば、ダイエットしたいと思っているのに、

お菓子を食べすぎてしまうことは、

私の長年の悩みですが、

これも、

「食べ過ぎたくないのに、ついつい食べてしまう」

のように表現できます。

また、片づけをしなくちゃと思って、

なかなかできないという場合なら、

「片づけをしたいのに、片づけられない」

というふうに言うことができますね。

このように、

あなたの悩みも、

ほとんどこの二つの言葉で表現できることに、  
気がつくと思います。

実は、この

「やりたいのにできない」

「やりたくないのにしてしまう」

という悩みの本質には、  
無意識が大きく関わっているのです。

私たちは意識では、

「片づけたい」

「痩せたい」

「勉強したい」

と思っているはずですが。

それなのに、できないのはなぜでしょうか？

それは、

無意識がそれらのことに対して

「しない選択」

をしているからです。



ではなぜ、

無意識は  
そんな選択をしてしまうのでしょうか？

それは、簡単に言えば、  
そして究極的に言えば、

無意識は、  
そうすることで、  
あなたの命を守ろうとしているからです。

片づけないこと  
勉強しないこと

そんなことで、  
自分の命を守っているっていうのは、  
ちょっとピンと来ないかもしれませんね。

でも、間違いなく、  
無意識はあなたを守っています。

例えば、

勉強しないでゲームをしていることは、  
無意識にとっては、  
楽しい、心地よい時間が

過ごせることにつながるので、  
良いことということになります。

もちろん、  
意識で考えれば、  
未来をよくするために勉強することは、  
良いことのはずです。

でも、

勉強することは、  
ストレスが溜まり、苦しい思いを味わうことになります。

そこで無意識は、そのような努力よりも、

楽しくて、長い時間が続くことが、  
その人の命にとっては良いことだと、  
判断してしまうのです。

そのため、

どんなに、  
勉強することが良いことだと  
頭でわかっている、

ゲームがやめられない、  
ということが起きてしまうのです。

なぜ、無意識は、  
こんな働きをしてしまうのでしょうか。

それには、  
こんな理由があるのです。

私たちは、  
この世に生まれてから、  
さまざまな外からの刺激に  
対処して生きてきました。

そういう無数の経験のなかで、

「こうやったら生き延びられる」

という経験則が、  
無意識のなかに書き込まれています。

無意識は、  
その経験則に従って、

あなたの行動を制限したり、  
行動を軌道修正しているのです。

つまり、

あなたの命が、

**「楽に生き延びられる戦略」を**  
**無意識は採っているというわけです。**

以上のことから、

**無意識は、私たちの生き方や人生に**  
**大きく関わっていることがわかります。**

さて、私たちの人生に無意識が  
大きく関わっていることはわかりましたが、

「私の命を左右するほどではないのでは？」  
と思っている方もいらっしゃるかもしれませんね。

そこで、もう少し別の例題を使って、  
無意識について考えていきましょう。

今回、

「無意識はあなたの命を守っている」  
というタイトルをつけました。

これを読んで、  
あなたはどんな感想を持ちましたか？

「本当かな？」  
という感じでしょうか。

それとも、

「もしかしたら、そうかもしれない」  
という感じでしょうか。

無意識は意識と違って、  
直接確認することができないため、  
意識的にコントロールできない部分です。

ですから、無意識のことをとらえようと思っても、  
なかなかとらえどころがありません。

ですから、

この例題を使って  
お話しすることにしましょう。

それでは、ここで、

仕事が忙しすぎて過労となり、  
「うつ」状態になってしまった人を  
想像してみてください。

うつと診断されたら、  
会社を休んで療養が必要になりますね。

そこで、

しばらくの間、休みをとって、  
療養生活を送ったとします。

仕事を離れて療養するなかで、  
その人は、ようやく自分らしく  
楽に生きていられるようになって、

少しずつ社会復帰も考えたいと  
思えるようになりました。

幸い、

会社からも解雇されていなくて、  
復帰することができます。

でも、

いざ「〇月から復帰」ということが決まり、  
復帰の日が近づいてくるにつれて、

また「うつ」の症状が再燃してしまう、  
つまり、ぶり返してしまうことがあるのです。

これは、まさしく

無意識がその人を守ろうと働いていることがよくわかる例と言えるでしょう。

つまり、

本人は意識では、

「いつまでも休んでいられない」

「仕事に復帰しなければいけない」

と思っているのです。

でも、

いざ復帰となると

体がいうことをききません。

それは、

無意識が復帰を止めているからです。



なぜなら、

無意識は、

うつになる経過や  
その原因となった仕事や人間関係を

全部その人の内側から見ていたからです。

そして、

その経験を心の奥深くに  
書き込んできたのです。

復帰を前に「うつ」状態が再燃している

それは、無意識が、

「会社にもどるなんて、とんでもない！」

と言っている状態だと考えれば  
納得がいきますね。

こんな風に、



無意識は、  
私たちを守るはたらきをしています。



私たちは、  
それに気づくことはないのですが、

自分自身の奥底で、  
無意識は私たちのために  
働いていてくれる、

そんな存在だと言えるのです。

このように、

自分では気づいていなくても、

これ以上苦しみの中にいたら  
生きていられなくなる

そんな風になったときには、

無意識が、

「動いちゃだめだよ」と  
私たちを守るように働きます。

でも、

私たちは、

「いや、そんなに休んではいけない」

とか、

「こんなに休んでは、  
出世のコースから外れてしまう」

とか、

いろんなことを「意識」で考えて、  
この無意識を抑え込もうとします。

その結果、  
どうなると思いますか？

意識と無意識が葛藤した状態になり、  
身動きがとれなくなってしまうのです。



前にお話したように、

「仕事に復帰しなくちゃ」と  
思っているのに、  
身体がいうことをきかなくなる

この状態こそ、

意識と無意識が  
葛藤状態になっているということの証です。

このことでもわかるように、

私たちは、  
どんなに「意識で」

「目標に向かって頑張るぞ！」

と思ったとしても、

無意識が  
それを納得していなければ、

絶対に、  
目標を達成することはできません。

無意識が、

「この目標を達成することは  
命を守ることに繋がる」

と、納得してはじめて、

心と体が一体となって  
一つの目標に向かって  
行動することができるのです。

しかし、

このことは、

逆に言えば、

無意識が

「この目標をクリアすることが、命を守ることだ！」

と、理解してくれさえすれば、

どんな理想や目標も、

成し遂げられる

ということでもあるのです。

私たちは、

無意識を味方につけることで、

どんなことも達成可能になる

そういうことができるのです。



そのため、

自分の奥底にある  
無意識を味方につけることが大切になります。

それさえできれば、

私たちは、自由にのびのびと  
自分の行きたい方向へ  
進むことができるようになるでしょう。



つまり、

あなたの願いごとをかなえるためには、  
あなたの無意識が、  
あなたの味方になってくれればいいのです。

無意識に、  
あなたの願いを聞き届けてもらうことができれば、

ほとんど自動的に、  
あなたの願いは現実のものとなるでしょう。

それでは、

無意識を味方につけるには  
どうしたらいいのでしょうか？

無意識は、  
意識でコントロールできませんし、

氷山の下部分は、  
普通の状態では、  
うかがい知ることができません。

しかし、実は、

そんな無意識にアクセス可能になる  
意識状態があるのです。

それが、

**「変性意識状態」**という  
意識の状態です。

それでは、  
次に

変性意識とは、  
どんな状態なのかについて、  
お話ししていくことにしましょう。

## 4. 「変性意識とは」

変性意識状態というのは、

意識はぼんやりとしているのに、  
それでいて、  
無意識は活性化した状態のことを  
いいます。

言い換えると、

意識が後退して、  
無意識が前に出ている状態  
ということもできますし、



いつもだったら閉まっている

無意識へアクセスするドアが、開いている状態

ということもできます。



このような変性意識は、  
トランス状態ともいわれていて、

これまで、

特殊な状況でしか起こらない  
と考えられてきました。

特殊な状況というのは、

古典的な催眠術による催眠状態や、  
宗教的な修行者がおこなう瞑想状態のことです。

そういう特殊な術の下でなければ、  
変性意識にはなれないと  
されてきたのです。

しかし、

現代では、  
変性意識状態は、

日常生活のなかでもごく普通に自然に起こる  
と考えられるようになってきています。

それでは、  
変性意識の起こる場面について、  
お話ししていきましょう。

まず、トランス状態、  
ぼんやりとした感じを伴う変性意識は、

リラックス状態、  
集中・没入状態  
のときに起こります。

つまり、こんなときに起こるのです。

・くつろいだ気分のとき  
・眠りに落ちる前のまどろみ  
・目覚めの前の気分

- ・自動車を長時間運転しているとき
- ・乗り物に乗っているなかで起こる気分
- ・読書、観劇、映画鑑賞などのときに起こる気分
- ・コミュニケーションのなかで起こる気分

どうでしょうか？

なんとなく、わかる気がすると  
感じるかもしれませんね。

そうですね。

私は、お風呂にゆっくりとつかっているときに、  
いろいろなアイデアが浮かぶのですが、  
これは、典型的な変性意識状態です。



人によっては、  
散歩しているときなどにも起こりますし、



料理をしているときなどにも起こります。



手順を考えなくてもできるようなことを、  
なかば自動的にやっているときなどにも、

変性意識になりやすいといえます。

意識はあるけれど、  
どこかぼんやりとした状態

それが、変性意識になっている状態です。

かなえない願いを  
無意識に伝えていくためには、

無意識にアクセスが可能となる秘密のカギ、  
変性意識が、とても重要です。

なぜなら、

変性意識状態になっているときは、  
無意識が最も活性化していて、  
無意識への扉が開いている状態だからです。

ですから、

変性意識の状態を作り出し、  
その状態で、自分のなりたい姿、  
理想の状態をイメージしていくことで、

無意識に対して、

「この状態が私の命にとって一番良いことなんだよ」

ということを教えてあげることができます。

実は、

スピリチュアル系と呼ばれるセラピーのなかには、  
なんらかの形で変性意識を作り出し、

無意識へアクセスした後に、  
理想の自分の姿を無意識へと伝えるという  
ことを目指していることが多く存在します。

ただ、多くのセラピストは、  
その仕組み、メカニズムを説明しないので、

なんだか不思議な技術とか、  
超能力、超自然的な能力みたいに  
捉えられていることがあります。

本来、

変性意識は、  
誰でも体験したことのあるもので、

不思議なもの、  
超自然なものと言うわけではありません。

ですから、

私は、このプログラムを受けているあなたには、  
なぜそうなるのかを知ってもらって、

何の不思議もないということ  
ぜひ理解してほしいのです。

なぜかと言えば、

不思議で超自然なもの  
という認識のままだと、

自分でもできるようになると  
思いにくいからです。

そういう考えのなかにいるうちは、  
せっかくの無意識を自分の味方にするのが、  
なかなかできるようになりません。

このプログラムを受けているあなたには、  
ぜひ、あなた自身の理想とする生活を  
手に入れてほしいのです。

そのために、

幸せを引き寄せる、  
この無意識へのアクセス方法、  
変性意識という秘密のカギを使って、  
あなた自身の願いをかなえていただきたいと思います。

無意識を味方にしていくことで、  
あなたの願いが現実化し、  
具体的な「物」が手に入るようになります。

さらに、

無意識の力のすごいところは、  
全く予想もしないような方法で、  
それがもたらされることです。

おそらく、

あなたの願うものも、  
今の時点では想像もしていないような  
偶然がいくつも重なって、  
あなたにもたらされるでしょう。

でも、それがまったく不思議でもなんでもなく、

運命だったのかな？

と思うような方法で、  
ことが運んでいくのです。

こんなことがあると、

超自然とかスピリチュアルで  
説明したくなってしまうのは、



当然のようにも思えます。

そんな風を感じるのも当然とも思えるような、  
不思議な出来事が起こるのですが、

これは、

超自然なことに結び付けなくても、  
次のように説明ができます。

変性意識を通じて無意識にアクセスし、  
自分の理想の姿を無意識に知ってもらい、  
無意識に納得してもらおう

このプロセスができさえすれば、  
あなたの夢は、  
どんどん実現できるようになるのです。



それでは、次に  
無意識にアクセスするための  
変性意識状態を作る練習をしていくことにしましょう。

## 5. 「変性意識をもたらすワーク」

それでは、  
ここから「声によるリード」を用いた、

「変性意識をもたらすワーク」を  
おこなっていきましょう。

変性意識状態は、  
日常生活の中でも起こるものなので、  
このワークをしないと体験できないものではありません。

ただ、

どんな状態が変性意識なのか、  
簡単につかんでいただくために、  
このワークを作りました。

そのため、

動画教材の声によるリードを聴きながら、  
変性意識の状態を確認していただきたいと思います。

## 【変性意識をもたらすワーク】

①ひとりの時間に行います。

誰かに話しかけられない時間や空間を選びましょう。

②背もたれのある椅子やソファに腰かけてください。

ベッドに横になった状態でも構いません。

ゆったりと自分の体が全部預けられるような姿勢を取ります。

③その姿勢のまま、ゆっくりと深呼吸してみましょう。

ゆっくりと鼻から吸って、ゆっくりと口から吐く。

それを交互に繰り返していきます。

④吸う息と吐く息を交互に感じながら、

呼吸がだんだんと深くなっていくのを感じることもできます。

⑤深まった呼吸が感じられたら、

自分のペースで呼吸していきましょう。

吐く息も口からでも、鼻からでも構いません。

さあ、自分のペースでゆっくり呼吸していきます。

⑥さて、では今から、

吐く息を感じていくことにします。

吐く息を感じていると、

日ごろの嫌なことやストレスが、

吐く息となって、体のなかから

出ていくのが感じられるかもしれません。

吐く息が、煙のようになって、  
自分のなかの嫌な気持ちが、  
体の外に出ていくのが感じられるようです。

そう。そんな感じでね。

そうです。

そのまま少し、吐く息を感じていくことにしましょう。

どんどん、自分のなかの濁りや曇った感情が、  
身体の外へ吐き出されるのが感じられる。

そんなこともありそうです。

⑦では、今度は、吸う息に感覚を向けていきましょう。  
鼻から吸う息を感じていると、  
何か、さわやかですがすがしい、  
そういう空気が体の中に入ってくるのを感じます。

そうです。

吸う息を感じていると

清らかな空気で体が満たされていく、

そんな感覚を味わうこともできます。  
そうです。そんな感じなんです。

しばらく吸う息を感じていくことにしましょう。

⑧さあ、もう一度吐く息を感じていきます。  
吐く息を感じていると、  
体の中から、嫌なものが出ていくのが感じられます。

⑨そして、吸う息を感じていると、  
体の中に、気持ちの良い空気が入ってくるのが感じられます。

さあ、このままゆっくりと呼吸をしていきましょう。

そうです。

⑩しばらく呼吸を味わっているうちに、  
そう、あなたは、  
どこか、深い時と場所に赴くこともできる。

すると、

⑪吐く息と吸う息が溶け合っていく、

そんな感覚も受け取ることができるでしょう。

⑫しばらく、このゆったりとした感覚を味わっていきます。

⑬さあ、それでは、今いる場所から少しずつ、  
上へと階段を昇っていくことにします。

あなたは、次第に上へと上ってきます。

⑭そして、何回か深呼吸をすると、  
調和のとれた目覚めを受け取ることができます。

さあ、いかがだったでしょうか。

ぜひ、文字を読むだけでなく、  
動画の音声で、  
声によるリードを聴きながら  
実践していただきたいと思います。

動画URL

<https://youtu.be/BAeXHUn1kYw>

このワークで、  
ぼんやりとした感覚がつかめたらOKです。

その状態が変性意識態です。

今回は、変性意識状態を作り出しやすいように、  
このようなワークを使いましたが、

慣れてくると、  
常にこのワークが必要  
というわけではありません。

日常生活の中でも、  
この感覚を覚えていれば、  
ふとした瞬間に、  
変性状態を作り出すことが可能です。

変性意識状態が、  
どんな状態を指すのか、  
覚えているでしょうか？

もう一度、復習しておきましょう。

変性意識状態は、

リラックス状態、  
集中・没入状態

のときに起こります。

つまり、こんなときに起こるのでしたね。

- ・くつろいだ気分するとき
- ・眠りに落ちる前のまどろみ
- ・目覚めの前の気分
- ・自動車を長時間運転しているとき
- ・乗り物に乗っているなかで起こる気分
- ・読書、観劇、映画鑑賞などのときに起こる気分
- ・コミュニケーションのなかで起こる気分

そうですね。

お風呂のなかでリラックスしているときに、  
変性意識状態になりやすいですし、

料理などをしているときにも、  
かなり変性意識になっていることが  
多いものです。

どこか、考えごとをしているような、  
ぼーっとしているような、

誰かから声をかけられると、  
かなりびっくりするほど、  
自分の内面に没入している、

そんな感じが、変性意識状態です。

もし、



どうしても  
なかなか自分の変性意識状態が、  
どんなときに起きているか

今一つつかめないという方は、  
この「変性意識をもたらすワーク」を  
何度か体験してみてください。

だんだんと、  
変性意識の状態を  
体が記憶していくようになるでしょう。

そうなれば、  
無意識に願いごとを覚えてもらうことが  
いつでもできるようになっていきます。

## まとめ

第6章では、  
願いをかなえ、  
幸せを引き寄せるために、

無意識が  
とても重要な役割を果たしている  
ことをお話してきました。

そして、

無意識を味方にするためにも、

無意識とのアクセスが可能になる秘密のカギ

変性意識状態が、とても大切だ

ということをお伝えしました。

変性意識状態は、

日常生活のなかでも起こりますが、

簡単に体験できるように、

「変性意識をもたらすワーク」も

ご紹介しています。

変性意識状態は、

とても重要なので、

必ずワークを行って、

体験しておいてくださいね。

変性意識状態を体験して、

無意識とのアクセスを

頻繁におこなうようにしていくと、

意識と無意識が、  
仲良くなっていきます。

心理学の用語では、  
これを「統合」と言って、  
とてもバランスの取れた心理状態を指します。

この統合した状態を保っていると、

「こうなったらいいな」  
という意識が、

無意識にも  
直接伝わっていくようになるため、

あなたが意識して何かをしようとしなくても、  
勝手に無意識が動き出す  
ということが起こります。

そうすると、

あなた自身の無意識が、  
あなたを幸せにするために、  
どんどん働いてくれるので、

あなたのもとには、  
幸せが次々に舞い込むという  
循環が始まるのです。

ここまでのワークをこなしてきたあなたは、

その循環のなかで、  
訪れた幸せを、  
気持ちよく受け取ることができますよ。

まだ、変性意識のワークを体験していない方は、  
無意識を味方にするために、

ぜひ、ワークを実践してくださいね。

さあ、あなたは本当に  
幸せ体質になってきましたよ。



一緒に幸せを引き寄せていきましょう。

## 【疑問や不安にお答えします】

ここまでで、わからないことや不安に思うことがあったら、

下記の問い合わせフォームから  
問い合わせてください。

不安を抱えたままいると、  
その不安が何度も何度も頭の中に現れ、  
あなたの大切な思考を占領してしまいます。

そして、マイナスの波動にさらされることにもなります。  
ですから、

「こんなこと聞いていいのかな？」  
と思うことでもいいので、

わからないことや不安に感じることがあったら  
すぐにご相談ください。

私は、いつでもあなたの隣にいます。

問い合わせはこちらからどうぞ。

<https://black-thrush.com/shitsumon/>

最後までお読みいただきありがとうございます。

幸せは、もうすぐです。

常森さつき